



金子かずお議員の一般質問は

3月の定例市議会は2月14日から開催されています。2月27日は5会派による代表者質問が行われました。

一般質問は2月28日、3月2日、3月3日の三日間で15名の議員が市政全般にわたる質問が行われています。

金子かずお議員の一般質問の内容は、①市長公約事業について②福祉支援センターについて執行部の考えを質します。



質問事項…市長公約事業について

質問趣旨…昨年度は、市長公約事業について市長公約事業のロードマップに基づき①徹底した行政改革について②安心の子育てについて③頼れる福祉について④便利なインフラについて⑤活気ある地域について⑥誇れるまちについての6つの柱について重点的かつ優先的に取り組むとして今日まで事業が進められてきている。

令和2年度も一つ(1)魅力をみんなで創るまち 二つ(2)誰もが自分らしく生きるまち 三つ(3)未来をつくる人が育つまち 四つ(4)市民のために科学技術を活かすまちの四本柱を市政運営の所信と主要施策の概要として示されています。

昨年度の成果や実績などについて、および継続的な事業も踏まえ、新年度の取り組みについて以下伺いたい。

- (1) 魅力をみんなで創るまちについて
- (2) 誰もが自分らしく生きるまちについて
- (3) 未来をつくる人が育つまちについて

- (4) 市民のために科学技術を活かすまちについての考え方

質問事項…やたべ・くきざきの福祉支援センターの業務委託について

質問趣旨…市内には市の事業として福祉支援センターやたべ、福祉支援センターさくら、福祉支援センターとよさと及び福祉支援センターくきざきで「地域活動支援センター事業」が行われています。

昨年の12月議会で、新年度から事業の一部を民間委託で実施することが議決されました。事業が大きく変化をするときは利用者や保護者の理解が必要であり、部内の調整などが重要と思えます。

この地域活動支援センター事業が開始されてから、民間委託へ至るまでの経緯と今後の進め方について。

名目賃金も低下

厚生労働省が2月7日、2019年の「毎月勤労統計調査」の速報値を発表。なんと、19年の月平均の名目賃金が前年比で0.3%と6年ぶりにダウンしてしまった。実質賃金がアベノミクスの7年間で低下し続けていることは意識されていたが、名目賃金まで低下した事実には衝撃が走っている。

政府は「正社員の名目賃金は上がっているから問題ない」と悲観論打ち消しに躍起だが、物価上昇分を考慮した実質賃金はさらに減り幅が大きく、マイナス0.9%。

賃金の底上げを伴わない「働き方改革」の影響で、残業規制は賃金低下に直結し、中小企業にも残業規制が始まる4月以降はさらに名目賃金が低下するとの予想も出されている。

一方で大企業の内部留保は2018年度で449兆円と過去最高を更新し続けている。富の再配分の問題は避けて通れない。

新型コロナウイルス感染症対策

安倍首相は27日、政府の新型コロナウイルス感染症対策本部の会合で、全国すべての小学校、中学校、高校、特別支援学校に対して、3月2日から春休みまでの期間を臨時休校とするよう発表をした。

首相は「感染の流行を早期に収束させるためには、徹底した対策を講じるべきだ」と述べたうえで、子供たちの健康、安全を第一に考え、多くの子供たちや教員が日常的に長時間集まることによる感染リスクにあらかじめ備える」と説明した。また、入学試験や卒業式などの実施については「感染防止のための措置を講じたり、必要最小

限の人数に限って開催したりするなど対応をとっていただくようお願いする」と呼びかけたと報道されています。

つくば市の新型コロナウイルス感染症対策は

3月2日より全国の学校を休校とする要請が出されたことを踏まえ、つくば市は市長と教育長の連名で学校への対応を発表した。

仕事を休めない保護者には、感染防止策を講じて準備期間として3月5日まで通常登校とする。出席に不安がある場合は登校しなくても欠席としないこととなります。

3月6日から3月24日までは臨時休業とするが、登校は可能で授業は実施をしないが教員が対応し自主学習となる。開校時間は8時から15時とし、放課後に当たる時間帯は通常どおり学童保育が実施されることとなります。給食も5日までは通常どおりの提供となり6日以降の対応は2日の希望調査で希望された方に対応されるとしている。

市立保育所・児童館・幼稚園・学童保育は

学童保育は先に述べたとおり放課後に当たる時間帯は通常どおり学童保育が実施されることとなります。また市立保育所や児童館、幼稚園は通常どおり実施されます。

尚、教育局での新型コロナウイルス感染症についての関連情報は教育局の教育指導課にお問い合わせ下さい。

活動日誌から

2月20日、市社会福祉協議会の主催で「見守りで紡ぐ地域の安心～広げよう！見守り活動～」地域の絆フォーラム2020が開催された。

シンポジウムでは、荃崎地域包括支援センター所長の川村健二さんより荃崎地域包括ケアと地域包括支援センターとの取り組み事例を取り入れた、荃崎圏域の概況や①母親と娘二人暮らし世帯の支援 ②認知症のひとり暮らし男性の支援の2事例の研修に参加をしてきた。